

## 骨盤内他臓器合併切除術における入院期間を延長させるリスク因子の検討

### 1. 研究の対象

1993年9月から2013年5月までに国立研究開発法人国立がん研究センター東病院大腸外科で大腸がんの他臓器浸潤や骨盤内局所再発の手術が行われた62人の方々を対象とします。

### 2. 研究の目的・方法

大腸がんの他臓器浸潤や骨盤内局所再発に対しては手術治療として骨盤内臓全摘術や機能温存を念頭においた骨盤内他臓器合併切除術が施行されてきました。今回は、これらの手術における入院期間を延長させるリスク因子と入院期間と治療成績の関係を検討することを目的としています。骨盤内臓全摘出術や機能温存を念頭においた骨盤内他臓器合併切除術は手術の中でも侵襲の大きい手術です。これらの手術を施行するにあたっては慎重な判断が必要です。また、これらの手術は術後合併症の発生頻度が高いとされており、その結果として長期の入院を必要とする事が少なくありません。術後長期の入院は術後治療の遷延や、筋力低下などに伴うQOLの低下などの術後経過の妨げとなります。これらの入院期間を延長させるリスク因子と術後合併症を引き起こす因子を検討することで、骨盤内他臓器合併切除術を施行することの妥当性を明らかにするだけでなく、入院期間の短縮及び術後合併症の減少をはかることが期待されます。

研究実施期間:3年

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、腫瘍に関する情報、手術に関する情報、術後QOL、カルテ番号、生年月日 等

試料：なし

### 4. 試料・情報の公表

公表：学会や論文で公表をおこないます。

### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さ

い。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

国立がん研究センター東病院 大腸外科 西澤祐吏

TEL 04-7133-1111 / FAX 04-7131-4724

研究責任者：

大腸外科 伊藤雅昭